

都市のグランドデザイン

練馬区は、急激な市街化により、都市計画道路等の都市インフラの整備が不十分なまま都市化が進みました。いまだ遅れている都市インフラの整備を着実に進め、良好な環境のまちを築いていくためには、区民と区がまちづくりの方向性を共有して、ともに取り組んでいくことが不可欠です。

都市のグランドデザインは、「みどりの風吹くまちビジョン」や「都市計画マスタープラン」で示しているまちづくりの方向性に沿って、練馬区が目指す概ね30年後のまちの将来像をわかりやすくとりまとめたものです。この将来像を区民と共有し、区民とともにまちづくりを進めていきます。

豊かな可能性を持つ練馬区

練馬区の特徴と魅力

練馬区は、緑被率が24.1%、農地面積は209haと23区で最も多くのみどりを有しています。都心に近い利便性と多様なみどりに包まれた住環境が両立しているところが練馬区の特徴です。とりわけ、農と共存した暮らしを楽しむことは、区の大きな魅力となっています。

都市インフラ整備の推進

練馬区は、都市計画道路の整備率が約5割であり、23区平均の約6割を下回っています。特に、西部地域の整備率は約3割と低く、著しく立ち遅れています。また、他の区にはほとんど見られない鉄道空白地域が残されているなど、特有の課題を抱えています。

都と区で共同して、外環の2など、区内の都市計画道路の多くを優先的に整備する方針であり、西武新宿線の連続立体交差化や都営地下鉄大江戸線の延伸などの事業も予定されています。さらに、練馬城址公園（としまえん）などの都市計画公園事業にも取り組むこととしています。

遅れている都市インフラの整備を進め、区民と協働して、練馬区の特徴を活かしたまちづくりに取り組むことにより、潜在力を花開かせ、さらに豊かで美しく、活力のあるまちへ発展させていくことができます。

まちの将来像

練馬区が、目指す30年後のまちの将来像を、まちづくりを進めるうえで重要と考えられる視点を踏まえ、4つのテーマに沿ってビジュアルで描きます。

まちづくりの視点

- ◆ まちの防災性・安全性を高める
- ◆ あらゆる世代が生活利便性を享受できる
- ◆ みどり・農の魅力を最大限に活かす
- ◆ 都市インフラを新たな発想で活用する

みどりに恵まれた良好な環境の中で 誰もが暮らしを楽しむ成熟都市

— まちの将来像の4つのテーマ —

- 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまち … P.55
- みどり豊かで快適な空間を演出する道路 … P.49
- 生きた農と共存するまち … P.43
- みどりあふれる中で多彩な活動が展開されるまち … P.37

テーマの構成

テーマごとに、鳥瞰図と具体的なまちをイメージした4つの絵で表現します。



鳥瞰図

具体的なまちのイメージを示した絵と説明

魅力にあふれ利便性に富んだ 駅前と周辺のまち



2 魅力的な商店街



3 地域の特色を活かし個性を発揮するまち



4 良好な環境を備え住民が支えあう住宅地



1 多くの人々にぎわう駅前空間



1 多くの人々にぎわう駅前空間

【目指す将来の姿】

駅はまちの中心として、多くの人々にぎわっています。
 主要駅は、公共交通機関への乗り換えが円滑になり、安全で快適に利用できる環境が整っています。
 駅周辺は、公共サービスや商業サービス施設が充実し、人々の働く場や多様なイベントの場として、地域の拠点となっています。

【取組の方向性】

安全・快適に人々が行きかう駅前広場を実現します

- 駅前広場を整備し、バスなど公共交通の乗り入れを促進します。
- 駅や公共施設へのアクセスが容易となるエレベーター、エスカレーターの設置を促進します。
- 人々の乗り換え導線等にも配慮し、わかりやすい乗り換え・運行サインを配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を進めます。

公共サービス施設を集約し、商業施設を充実するとともに、駅前広場を多様に活用できる場とします

- 行政手続き窓口や福祉・子育て相談の窓口などを、駅周辺に集約して利用しやすくします。
- 駅周辺の土地の有効利用を促進し、商業施設やサテライトオフィス等を誘致し、まちの機能を高めます。
- 駅前広場を多彩なイベント等が開催できる場として活用します。



2 魅力的な商店街

【目指す将来の姿】

商店街は、買い物や飲食を楽しむだけでなく、地域のイベント等により人々が交流する場として親しまれています。
 駅周辺には、個性あふれる店舗が立地し、特色ある商店街に区内外から多くの人々が集まり、にぎわいと活気にあふれています。

【取組の方向性】

魅力的な商店街をつくります

- まちゼミ等、既存店舗の魅力向上への取組を支援するとともに、個性ある店舗等の立地を促進し、特色ある商店街づくりを進めます。

快適に安心して買い物ができる道路を実現します

- 人々が楽しく快適にショッピングができるよう、歩きやすい歩行者優先の道路にします。
- 通行する人、買い物する人が安心して行きかい、地域のイベントにより人々が交流する場とします。

映像のまち



音楽のまち

3 地域の特色を活かし個性を発揮するまち

【目指す将来の姿】

三つの大学がある江古田駅周辺、映画撮影所やアニメスタジオがある大泉地域、宿場町としての名残を残す北町などでは、地域の人々がまちの特色を活かした取組を進め、個性あふれるまちに、区外からも多くの人が訪れています。

【取組の方向性】

まちが持つ個性や魅力を活かしたまちづくりを進めます

- 映画・アニメキャラクター等の映像資源や歴史的な資源等を活かした、個性的で魅力ある街並みづくりを進めます。
- 地元企業や大学、商店街、鉄道事業者等と連携し、地域の特色を活かしたまちづくりを進めます。

まちの個性や魅力を広く発信し、練馬区のイメージを高めます

- 大学と連携した音楽イベント、映像作品とコラボレーションした商品の開発など、地域のにぎわい創出につながる活動や個性を活かした取組を支援し、区内外に広く発信していきます。



4 良好な環境を備え住民が支えあう住宅地

【目指す将来の姿】

生活道路の拡幅整備や建物の不燃化・耐震化などが進み、災害に強い住宅地になっています。地域住民の主体的なルールづくりにより、生け垣等が整った街並みになっています。道路等の公共空間や空き家等の活用が進み、住民同士が気軽に交流・相談できる場所が住宅地のいたるところに生まれています。小さな拠点を中心に、地域の支え合いが広がっています。

【取組の方向性】

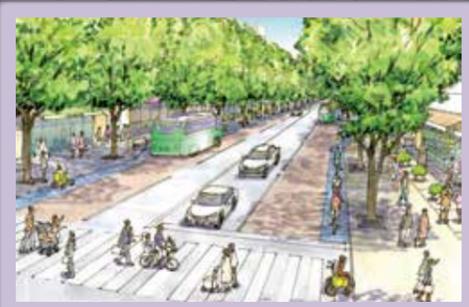
安全で良好な住宅環境をつくります

- 狭あい道路を拡幅整備し、建物の不燃化・耐震化を進め、安全で良好な街並みを整備します。
- 区民や地域が進める分散型エネルギーシステム導入への取組を支援していきます。
- みどりや生け垣等の管理、まちなみ協定等のルールづくりを支援していきます。

住民が主体的に活動できる場をつくります

- 建物所有者と地域住民や多様な活動を行う団体等とのマッチングに取り組み、空き家の活用を推進します。
- 街かどケアカフェ等、住民同士が気軽に交流できる場の設置を促進していきます。
- 地域の中で、区民が主体的に活動できる拠点づくりを支援します。

みどり豊かで快適な空間を演出する道路



3 多様な交通を支える道路



2 区民が集い活動する道路



1 みどり豊かな幹線道路



4 安全性を高めた生活道路



1 みどり豊かな幹線道路

【目指す将来の姿】

幹線道路の整備に合わせて新たに植樹された街路樹が大きく成長し、みどり豊かな快適な空間となっています。

道路整備により、まちの防災性が向上しています。

【取組の方向性】

道路整備に合わせて街路樹の植栽や沿道の緑化を進めます

- 地区の特性に合った街路樹を植え、沿道の緑化を促進します。
- 公園や緑地等のみどりの拠点と街路樹、河川をつなぎ、みどりと水のネットワークを形成していきます。

幹線道路の整備により防災性を向上します

- 幹線道路の整備を進め、緊急車両等の交通を確保して、防火・救援活動を円滑にします。
- 沿道建物の不燃化を進め、街路樹と合わせて、後背の住宅地への延焼を遮断します。
- 無電柱化を促進し、防災性や景観に配慮した道路づくりを進めます。



2 区民が集い活動する道路

【目指す将来の姿】

道路は、ユニバーサルデザインに配慮され、誰もが安全に通行しています。

利用する人々のニーズに合わせた整備がされ、仲間同士が集う場、体を動かす場など、様々な活動に道路が利用されています。

【取組の方向性】

安全・快適に通行できる歩行空間を実現します

- ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全に通行できる歩行空間を整備します。
- 熱を吸収する素材や足に負担がかからない素材等を活用する等、快適に通行できるよう整備します。

人が集い、活動する空間として道路を活かしていきます

- 人が集う場、休憩する場としてベンチ等を置くなど、多様な使われ方ができるよう取り組みます。
- ジョギングやウォーキング、サイクリングなど、活動のフィールドとしても活用できるようにしていきます。



3 多様な交通を支える道路

【目指す将来の姿】

技術革新と超高齢社会の到来により、人の移動を支える交通手段も大きく変わっています。自動車や定時運行が確保されたバス等の交通と、小型EV、自転車、車椅子などパーソナルな交通が共存し、円滑に通行しています。

【取組の方向性】

人々の移動を支える公共交通を充実します

- 幹線道路の整備を進め、道路のネットワークを形成し、公共交通を充実します。
- バスの専用レーン等を整備し、公共交通の定時運行を確保します。

多様な乗り物や歩行者が安全に通行できる道路にします

- 自動車、自転車、小型EVなど移動手段に応じた走行レーンづくりを進めます。
- 買い物カート、車椅子、ベビーカーを利用している人などが安全で歩きやすい歩道にします。



4 安全性を高めた生活道路

【目指す将来の姿】

幹線道路ネットワークが形成されることにより、生活道路は通過交通が減少し、安心して歩ける空間となっています。人々が通行するだけでなく、近隣の人々が憩い、集う場となっています。

【取組の方向性】

生活道路の改善により、住宅地の安全性を向上します

- 緊急車両等の円滑な通行を可能とし、防火・防災活動がしやすい環境を整えます。
- 無電柱化を促進し、防災性や景観に配慮した道路づくりを進めます。
- 雨水浸透施設の設置や透水性舗装の整備を進め、雨水を地中に浸透させます。

地域住民の交流の場として活用します

- 住宅地内の道路は、時間帯などにより車の進入を抑制し、住民が楽しむ場、交流する場として活用していきます。

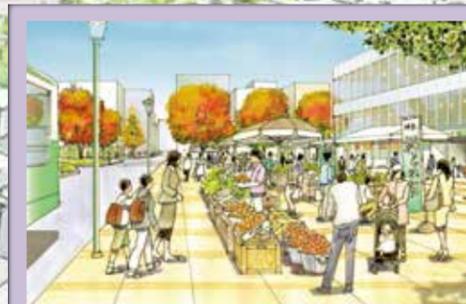
生きた農と共存するまち



1 農のある風景



2 農とのふれあい



3 地場農産物のマルシェ



4 農と共存する住宅地



1 農のある風景

【目指す将来の姿】

一面に広がる農地と母屋、それを取り巻く屋敷林が一体となって存在する、武蔵野の面影が残されています。

区民は、四季折々の新鮮な野菜を味わい、練馬ならではの農のある景観に親しみ、豊かな都市生活を送っています。

【取組の方向性】

農のある風景を保全します

- 武蔵野の面影を残す農家の家屋と屋敷林、農地が広がる風景を、区民とともに保全します。
- 練馬の農業を通して育まれた、お囃子や祭りなどの伝統文化を後世に継承します。

意欲ある農業者を支援します

- 新鮮で安全な農産物が継続して生産されるよう、意欲ある農業者の取組を支援していきます。
- 農サポーター等、農の支え手を育成し、農業者への耕作支援を行っていきます。



2 農とのふれあい（果樹あるファームなど）

【目指す将来の姿】

果樹あるファームや体験農園など、農を体験する場が増えています。区内外から人々が集まり、農を通じた新たなコミュニティが育まれています。

農を通して、障害者や高齢者の社会参加の場が広がっています。

【取組の方向性】

農を体験できる場を充実します

- 果樹の摘み取りが楽しめる果樹あるファームの開設を支援します。
- 作付けから収穫までを体験できる農園を充実していきます。

新しい人のつながり、コミュニティを醸成していきます

- 農作業への体験を通して、区民同士のつながりを育み、農を守り、農地を保全する活動に発展するよう取り組みます。
- 福祉施設と連携して、障害者や高齢者が農を通して社会参加できる機会を充実していきます。



3 地場農産物のマルシェ

【目指す将来の姿】

区内で生産された農産物や加工食品等を購入できるマルシェが、駅前広場や公園等で開催され、人々の交流の場となっています。

地場農産物が日常の食卓に並び食生活を豊かにしています。

【取組の方向性】

地場農産物を扱うマルシェを公共の空間で開催します

- 駅前広場や公園、今後整備される道路などの公共空間を活用し、区内の様々な場所でのマルシェ開催を支援します。
- 区外からも多くの人を訪れるよう、マルシェを練馬区の魅力として発信していきます。

農園レストランなどの設置を促進します

- 農家等が経営する農園レストランや直売所等の設置を支援していきます。



4 農と共存する住宅地

【目指す将来の姿】

住宅地と農地が共存し、区民の日常には、農にふれ、楽しむ機会が増えています。

宅地開発に際して農地が創出される新しい取り組みが進んでいます。

農を活かしたまちづくりが進み、練馬区の魅力が高まっています。

【取組の方向性】

区民と協働して農地を保全します

- 新設される農地の貸借制度を活用することにより、担い手の多様化に取り組みます。農業者や区民等が協働して農業を継続する仕組みを検討します。

農を活かした特色あるまちづくりを進めます

- 駅前や幹線道路沿いに、地場農産物等を扱う販売店や飲食店の立地を促進します。
- 宅地開発に際して、未利用地の農地への転換、農地付住宅を実現する仕組みを検討します。
- 農地が持つ延焼遮断機能や雨水を浸透させる機能を活かし、防災性に優れたまちづくりを進めます。

みどりあふれる中で多彩な活動

が展開されるまち



1 自然とふれあう憩いの森



3 自然の中でスポーツを楽しむまち



2 楽しみと安全をもたらす大規模公園



4 文化芸術の香り高いまち



1 自然とふれあう憩いの森

【目指す将来の姿】

雑木林や屋敷林、湧水池など、貴重な自然が保全され、区民は豊かな環境を楽しみ、身近なみどりの中でくつろいでいます。

貴重な植物と出会える場として、区民はもとより都民のオアシスになっています。

【取組の方向性】

武蔵野の面影を残す自然を守ります

- 憩いの森制度等を活用して、地域にある雑木林や屋敷林を保全していきます。
- 残された自然を適切に管理、保全する仕組みをみどりの区民会議で検討し、取り組みを進めていきます。
- みどりとともに育てる区民のムーブメントを巻き起こす新たな仕組みをつくります。

残された自然を区民がふれあう場として活用します

- 区民がみどりとふれあう場として、雑木林や屋敷林を活用していきます。動植物の保全に配慮して取り組みます。



2 楽しみと安全をもたらす大規模公園

【目指す将来の姿】

公園は、みどりや水にふれ、遊び、くつろぐなど、区民が思い思いに過ごす場所として利用されています。

公園や運動公園の整備が進み、防災機能を備える災害時の拠点ともなっています。

【取組の方向性】

くつろげる場、魅力ある場として機能を高めます

- 川の流れや傾斜地などの地形、それぞれの植生などの自然条件、歴史・文化などを活かした特色ある公園づくりを進めます。
- 音楽祭やお祭り等、区民の多様な活動ができる施設をつくります。
- 大規模公園でのレストランやオープンカフェ、物販店等の誘致に向け検討を進めます。

みどりの拠点・防災の拠点とします

- みどりのネットワークの拠点としての活用を検討していきます。
- 災害時の物資の備蓄や救援活動に対応できるよう、防災の拠点として活用を進めます。



3 自然の中でスポーツを楽しむまち

【目指す将来の姿】

スポーツを身近に楽しめる環境が整い、競技する人、観戦する人、体を動かし心身のリフレッシュをする人などが、それぞれにスポーツを楽しんでいます。

【取組の方向性】

誰もが楽しむことができるスポーツ施設をつくります

- スポーツ活動やスポーツ観戦の拠点となり、コンサートなども楽しめる多目的に利用できる施設を整備します。
- 障害者や高齢者など、誰もがスポーツを楽しめる設備を整えます。

気軽にスポーツを楽しめる環境をつくります

- 公園や歩道などをジョギングやウォーキングが行える場として利用できるように、工夫していきます。



4 文化芸術の香り高いまち

【目指す将来の姿】

美術館やホールなど、文化芸術活動のための舞台が整い、区民は、伝統芸能や絵画、音楽、映像など、プロフェッショナルな活動と自らが参加する活動を楽しんでいます。

【取組の方向性】

文化芸術を身近に楽しめるようにします

- 新能など、一流アーティストによる質の高い公演、演奏会などを広く開催・誘致していきます。
- お囃子などの伝統芸能、路上ライブなど、広場や公園、道路等で開催するイベントなどの機会を充実します。

文化芸術活動のための場を整備します

- 美術館をリニューアルし、展示機能を充実するなど、魅力を向上させます。
- 区民が、日頃の文化活動を行い、発表する場の機能を充実します。